うさぎだより

2020年 7・8月号

うさぎ文庫

7・8月

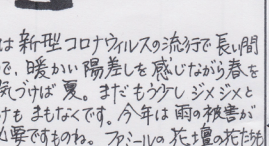
あっという間に7月になりました。今年は新型コロナウイルスの流行で長い間閉じ込もりがちな日々を送っていましたので、暖かい陽差しを感じながら春を楽しむこともなく梅雨の季節を迎え気づけば夏。まだもうすこしジメジメと大雨がくるかもしれませんが梅雨明けもまもなくです。今年は雨の被害が無いことを願いつつ、でも恵みの雨は必要ですものね。ベランダの花壇の花たちぐんぐん伸びて元気に育っています。コロナで立ち止まらないといけないことがたくさんありましたが、気持ちをカラリ換えて歩み始めましょう。

4月、5月のぶんを一気に取り戻す気持ちで安全に気をつけながら過ごしたいものです。

みんなの身体も、心もぐんぐん伸びますように！

6/19(金)の文庫の日に久しぶりにみんなに会えて嬉しかったヨ。

少し見ないうちに、背も伸びていて心も成長していることがわかってとても充実した時間が過ごせました。



カサナリさんの降らせる雨もへっちゃらヨ!!
カサさえ歩くのも楽しいもん♪

『おじさんのかさ』佐野洋子作 講談社
読んでみてね。

短冊に願いを込める

からだも心も元気でいられますように

久しぶりに行ってきました！出張おはなし会

7/1(水) 東垂水保育園

新年度になってから初めての出張おはなし会に出掛けてきました。

毎年、4月5月は新入園の子どもたちが園の生活に慣れていないのでおはなしが聞けないかもしれないという園の考えがあって、おはなし会の依頼はほとんどありませんでしたからコロナの影響を多く受けたわけではありませんが、それでもいくつも園からキャンセルの連絡が入りました。

その中で延期になっていた東垂水保育園から受け入れの体制が整ったのでぜひ来てほしいという依頼が入って行ってきました。

行く側の私たち感染予防のためにどのような準備をして良いのか不安でしたが、各自体調を整え、リハーサルをして、マスク着用で臨みました。この園では、部屋の中では子どもたちも先生もマスクをしていますが、外遊びのときはマスクをはずして過ごしているとのこと。

おはなし会の時はもちろん子どもたちも先生もマスクを着用していましたが、絵本を読む私たちはマスクをはずして語ってほしいと言われ少々驚きました。先生がおっしゃるには、読み手の表情を子どもに見せたいからだそうです。子どもたちの人数も5才、6才児の大きい組のみで私たちと子どもたちの距離もいつもより離れての実施でした。

コロナの影響で子どもたちもいろいろなことを制限されていて、楽しめることが減っている中、うさぎ文庫のおはなしをとても楽しみに待ってくれていました。どのおはなしもとても良い反応をしてくれて本当に楽しそうに集中して聞いてくれました。私たちも久しぶりのおはなし会で緊張していましたが、子どもたちの笑顔を見ると どんどん力が湧いてきて楽しく幸せな時間を過ごしてきました。その後 先生から連絡があり、おはなし会の絵本をもう一度子どもたちが園で楽しく読んだそうです。もっともっとおはなしを好きになってくれるといい。

8月は文庫はお休みですが

本の宅配します！

暑を避け涼しい夏のおはなし会も中止にしましたので、今年の8月は希望者に夏休み中に本宅配を致すことにしました。うさぎ文庫まで申し込んでくださいね。

▼9月の開室日…4日・18日（8月はお休みです。）

うさぎだよりは「コープともしびボランティア振興財団」の助成を受けて印刷しています。

ホームページアドレス usagi-bunko.com

うさぎ文庫の電話番号 924-7234（菊川自宅FAX共）